



学 会 通 信

第 116 号

2025 年 10 月 8 日発行

目次

2025 年度日本教育メディア学会定例総会開催通知（会告）	2
2025 年度日本教育メディア学会第 32 回年次大会ご案内【最終報】	8
教育メディアと AI：教員のための実践的セミナーのご案内	9
国際学会 ICoME2025 の開催報告および ICoME2026 のご案内	10
2025 年度第 1 回日本教育メディア学会研究会のご報告	11
論文投稿のご案内	12
学会費納入のお願い，入会者・退会者	13

2025 年度日本教育メディア学会定例総会開催通知（会告）

正会員各位

下記により 2025 年度日本教育メディア学会定例総会を開催いたします。会員各位の出席をお願いいたします。なお、ご出席されない方は、事務局から送られたメールに記載されている様式で委任状を送りください（2025 年 10 月 30 日（木）締め切り）。

2025 年 10 月 5 日
日本教育メディア学会
会長 村上 正行

記

1.日 時：2025 年 11 月 1 日（土）13:00－13:50（年次大会第 1 日目）

2.場 所：北海道教育大学函館校

3.内 容：

（1）議案

第 1 号議案 2024 年度事業報告及び収支決算承認の件

- ①機関誌発行
- ②年次大会の開催
- ③学術交流等
- ④Web サイトの改修
- ⑤2024 年度収支決算（案）、監査報告

第 2 号議案 2025 年度事業計画及び収支予算承認の件

- ①機関誌発行
- ②年次大会の開催
- ③学術交流等
- ④特定課題研究（SIG）
- ⑤2025 年度収支予算（案）

第 3 号議案 その他

（2）報告事項

- ①表彰「日本教育メディア学会論文賞」審査経過と結果報告
- ②2026 年度年次大会の件
- ③学生研究奨励賞の制度開始について
- ④その他

以上

(1) 議案

第1号議案 2024年度事業報告及び収支決算承認の件

2024年度に実施した事業は次のとおりである。

①機関誌発行

1. 「教育メディア研究」第31巻1号，第31巻2号を刊行し，在会会員に配布した。
2. IJEMT Vol.18, No.1 および Vol.18, No.2 を刊行した。
3. 学会通信第110号（2024年5月31日発行），第111号（2024年7月1日発行），第112号（2024年9月20日），第113号（2025年2月3日発行）を刊行し，会員に配布した。

②年次大会の開催

日本教育メディア学会第31回年次大会を，鹿児島女子短期大学で開催した（2024年10月5日～6日）。また，「第31回年次大会発表論文集」を刊行し，申込者に配布した。

③学術交流等

1. 次の研究会を開催した。
 - (1) 2024年度第1回日本教育メディア学会研究会
(2024年7月28日・中京大学)
 - (2) 2024年度第2回日本教育メディア学会研究会
(2025年2月16日・京都教育大学)
2. ICoME2024 を共同開催した。
(2024年8月21日～23日：対面開催（事務局：日本，明治大学中野キャンパス）)
3. 企画委員会による年次大会での企画委員会セッションの開催

④Web サイトの改修

レスポンシブデザインに対応した学会 Web サイトの改修を行った。

⑤2024年度収支決算（案），監査報告

2024年度収支決算（案）を次ページに記す。

2024年度 決算報告書

財務諸表

1 貸借対照表 2025年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	6,548,365	6,633,012	-84,647
仮払金	0	0	0
流動資産 計	6,548,365	6,633,012	-84,647
資産 計	6,548,365	6,633,012	-84,647
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	22,869	0	22,869
流動負債 計	22,869	0	22,869
負債 計	22,869	0	22,869
III 正味財産の部			
1 一般正味財産			
正味財産 計	6,571,234	6,633,012	-61,778
負債及び正味財産 計	6,548,365	6,633,012	-84,647

2 正味財産増減計算書
2025年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常収益の部				
(1)経常収益				
①入会金	76,000	100,000	-24,000	※入会金小計
入会金	76,000	100,000	-24,000	正会員24名、学生会員14名
②会費	2,391,000	2,639,000	-248,000	※会費小計
正会員会費	1,610,000	1,911,000	-301,000	230名分（昨年度273名、正会員数340名）
学生会員会費	156,000	148,000	8,000	39名分（昨年度37名分、学生会員数72名）
団体会員年会費	300,000	300,000	0	6団体分（団体会員6団体）
購読会員年会費	35,000	42,000	-7,000	5会員分（購読会員6会員）
過年度正会員年会費	217,000	203,000	14,000	のべ31名分
過年度学生会員会費	52,000	28,000	24,000	のべ13名分
過年度団体会員年会費	0	0	0	
過年度購読会員年会費	21,000	7,000	14,000	3会員分
③事業収益	3,462,500	1,059,000	2,403,500	※事業収益小計
刊行物頒布収入	120,000	200,000	-80,000	別刷印刷の著者購入代
全国大会参加費収入	403,000	469,000	-66,000	
全国大会懇親会費収入	364,000	390,000	-26,000	
国内研究会参加費収入	96,000	0	96,000	（新項目）研究会の参加費（学会員54000円、非学会員42000円）
国際研究会参加費・懇親会費収入	2,479,500	0	2,479,500	（新項目）ICoMEの参加費
④雑収益	527,155	58	527,097	※雑収益小計
受取利息	1,115	58	1,057	利息
授業目的公衆送信補償金	0	0	0	
補助金	526,040	0	526,040	（新項目）ICoME開催大学の助成金
経常収益 計	6,456,655	3,798,058	2,658,597	
(2)経常費用				
①事業費	5,634,581	3,010,022	2,624,559	*事業費小計
通信運搬費	62,809	72,044	-9,235	学会誌・別刷郵送費、請求書等郵送費
システム運営費	791,457	643,727	147,730	査読システム費、研究委員会（国内）、Webサーバ料金、Webサイトデザイン等
消耗品費	102,490	122,494	-20,004	年次大会開催のための消耗品、論文賞賞状等、文具等
印刷製本費	550,875	503,500	47,375	教育メディア研究31(1)・31(2)、別刷
会議費	1,921,526	523,845	1,397,681	年次大会会議費、懇親会代、弁当茶菓子代等、ICoMEの会議費（今年度）
顕彰事業費	50,000	50,000	0	論文賞賞金、手続き費用
旅費交通費	75,438	129,190	-53,752	年次大会講師交通費
支払手数料	144,616	161,322	-16,706	年次大会Peatix利用手数料、振込手数料等
委託費	465,000	441,000	24,000	論文誌製本作業費
諸謝金	956,603	30,000	926,603	年次大会講師謝金、ICoMEの謝金費（今年度）等
雑費	513,767	332,900	180,867	年次大会等の運営補助費
②管理費	906,721	757,851	148,870	*管理費小計
通信運搬費	12,106	0	12,106	業者との通信費等
システム運営費	425,528	312,688	112,840	会員管理システム利用料（年間）、クラウド会計システム利用料等、e投票システム(2024年度)
旅費交通費	0	0	0	監査に係る旅費
消耗品費	0	0	0	事務局文具等
支払手数料	106,410	115,163	-8,753	会員管理システム利用手数料、振込手数料等
諸謝金	320,000	320,000	0	事務局補助謝金
雑費	42,677	10,000	32,677	教育関連学会連絡協議会年会費等
経常費用 計	6,541,302	3,767,873	2,773,429	*年度の総支出額
当期一般正味財産増減額	-84,647	30,185	-114,832	*学会の財産の1年間における増減額
一般正味財産期首残高	6,633,012	6,602,827	30,185	*年度初めの資産の額
一般正味財産期末残高	6,548,365	6,633,012	-84,647	*年度終わりの資産の額
II 正味財産期末残高	6,548,365	6,633,012	-84,647	*本学会の資産の額

「*」がある備考欄は科目そのものの説明

第2号議案 2025年度事業計画及び収支予算案

2025年度に実施する事業は次のとおりである。

①機関誌発行

1. 「教育メディア研究」第32巻1号、第32巻2号を刊行し、会員に配布する。
2. IJEMT Vol.19, No.1 および Vol.19, No.2 を刊行する。
3. 学会通信第114号～第117号を刊行し、会員に公開する（メーリングリスト、Web サイト）。

②年次大会の開催

日本教育メディア学会第32回年次大会を、北海道教育大学函館校で開催する（2025年11月1日～2日）。また「第32回年次大会発表論文集」を刊行し、申込者に配布する。

③学術交流等

1. 次の研究会を開催する。

(1) 2025年度第1回日本教育メディア学会研究会

(2025年7月27日・昭和女子大学)

(2) 2025年度第2回日本教育メディア学会研究会

(2026年2月22日・中村学園大学)

2. ICoME2025 を共同開催する。

(2025年8月7日～9日：対面開催（事務局：韓国，Inha University）)

④特定課題研究（SIG）

1. 放送教育 SIG
2. メディア・リテラシーSIG
3. アートベース・リサーチ（ABR）SIG

⑤2025年度収支予算（案）

2025年度収支予算（案）を次ページに記す。

3 予算対正味財産増減計算書
2025年3月31日現在

(単位：円)

科 目	2025年度予算額	2024年度予算額	予算額の差異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常収益の部				
(1)経常収益				
①入会金	76,000	76,000	0	* 入会金小計
入会金	76,000	76,000	0	
②会費	3,137,000	2,391,000	746,000	* 会費小計
正会員会費	2,142,000	1,610,000	532,000	7,000円×306名の納入率約90%
学生会員会費	140,000	156,000	-16,000	4,000円×35名の納入率約90%
団体会員年会費	300,000	300,000	0	50,000円×6団体
購読会員年会費	35,000	35,000	0	7,000円×5会員
過年度正会員会費	420,000	217,000	203,000	7,000円×60名
過年度学生会員	100,000	52,000	48,000	4,000円×25名
過年度団体会員年会費	0	0	0	
過年度購読会員年会費	0	21,000	-21,000	
③事業収益	1,120,000	3,462,500	-2,342,500	* 事業収益小計
刊行物頒布収入	120,000	120,000	0	別刷印刷の著者購入代
全国大会参加費収入	500,000	403,000	97,000	
全国大会懇親会収入	400,000	364,000	36,000	
国内研究会参加費収入	100,000	96,000	4,000	
国際研究会参加費・懇親会費収入	0	2,479,500	-2,479,500	
④雑収益	1,100	527,155	-526,055	* 雑収益小計
受取利息	1,100	1,115	-15	利息
授業目的公衆送信補償金	0	0	0	
補助金	0	526,040	-526,040	
経常収益 計	4,334,100	6,456,655	-2,122,555	* 年度の総収入額
(2)経常費用				
①事業費	3,478,000	5,634,581	-2,156,581	* 事業費小計
通信運搬費	63,000	62,809	191	学会誌・別刷郵送費、請求書等郵送費
システム運営費	540,000	791,457	-251,457	査読システム費、研究委員会（国内）、Webサーバ料金
消耗品費	110,000	102,490	7,510	年次大会開催のための消耗品、論文賞賞状等、文具等
印刷製本費	560,000	550,875	9,125	教育メディア研究32(1)・32(2)、別刷
会議費	800,000	1,921,526	-1,121,526	年次大会会議費、懇親会代、弁当茶菓子代等
顕彰事業費	50,000	50,000	0	論文賞賞金、手続き費用
旅費交通費	75,000	75,438	-438	年次大会講師交通費
支払手数料	150,000	144,616	5,384	年次大会Peatix利用手数料、振込手数料等
委託費	480,000	465,000	15,000	論文誌製本作業費
諸謝金	50,000	956,603	-906,603	年次大会講師謝金
雑費	600,000	513,767	86,233	年次大会等の運営補助費
②管理費	542,000	906,721	-364,721	* 管理費小計
通信運搬費	12,000	12,106	-106	業者との通信費等
システム運営費	50,000	425,528	-375,528	会員管理システム利用料（年間）、クラウド会計システム利用料等
旅費交通費	0	0	0	監査に係る旅費
消耗品費	0	0	0	事務局文具等
支払手数料	110,000	106,410	3,590	会員管理システム利用手数料、振込手数料等
諸謝金	320,000	320,000	0	事務局補助謝金
雑費	50,000	42,677	7,323	教育関連学会連絡協議会年会費等
経常費用 計	4,020,000	6,541,302	-2,521,302	* 年度の総支出額
当期一般正味財産増減額	314,100	-84,647	398,747	* 学会の財産の1年間における増減額
一般正味財産期首残高	6,548,365	6,633,012	-84,647	* 年度初めの口座残高の額
一般正味財産期末残高	6,862,465	6,548,365	314,100	* 年度終わりの口座残高の額
II 正味財産期末残高	6,862,465	6,548,365	314,100	* 本学会の資産の額

「*」がある備考欄は科目そのものの説明

2025 年度日本教育メディア学会第 32 回年次大会ご案内【最終報】

大会実行委員会・年次大会委員会

第 32 回年次大会は、2025 年 11 月 1 日（土）、2 日（日）の 2 日間、北海道教育大学函館校で開催されます。 <https://jaems.jp/conference-32th-1st/>

<プログラム>

◆1 日目：11 月 1 日（土）

10:30－11:30 理事会

12:00－ 受付

13:00－13:50 総会

14:00－15:45 シンポジウム

【放送開始 100 年記念】放送教育のこれまでと GIGA 第二期でのメディア教育

登壇者 佐藤知条 会員（静岡産業大学）、宇治橋祐之 会員（NHK 放送文化研究所）、

菅原弘一 会員（宮城教育大学）、関谷優衣 氏（仙台市立黒松小学校）

コーディネーター 豊田充崇 会員（和歌山大学）

16:00－17:30 一般研究発表（1）

18:30－20:30 懇親会（「函館ビヤホール」函館市末広町 14-12 を予定）

◆2 日目：11 月 2 日（日）

09:00－09:30 特定課題研究（SIG）報告会

『メディア・リテラシーSIG』『アートベース・リサーチ SIG』『放送教育 SIG』

09:45－11:45 課題研究

11:45－12:45 昼食

12:45－14:15 一般研究発表(2)

14:25－15:55 一般研究発表(3) ※一般研究発表：発表 20 分，質疑 8 分，入替 2 分を予定

<年次大会参加費>

年次大会参加費 会員 3,000 円

非会員 4,000 円 ※ただし，非会員の現職教員は無料

学生会員 1,000 円

学生非会員 2,000 円

※事前・当日で参加費は変わりません。Peatix で徴収・領収書発行を行います。

ぜひ，多くの会員の参加をお待ちしております。

以上

教育メディアと AI：教員のための実践的セミナーのご案内

企画委員会

近年、生成 AI は急速に普及し、学校教育の現場にもさまざまな影響を与え始めています。AI を活用することで、授業準備や教材作成の効率化、児童生徒の学習支援、さらには新しい学びの創出が期待される一方で、情報の信頼性や著作権、個人情報への扱いなど、慎重に考慮すべき課題も存在します。

本セミナーでは、学校教員が安心して AI を活用するための基本的なルールや考え方を整理し、授業や校務での具体的な活用事例を紹介します。また、参加者同士の意見交換を通じて、現場に即した実践的な視点を共有する場とします。

AI 時代の教育に向けて、「どのように AI と向き合うか」「子どもたちにどのように使わせるか」を共に考える機会としたいと願っています。

■日時：2025 年 12 月 20 日（土）09:30－12:00

■方法：オンライン

■対象：主に学校教員としますが、どなたが参加されても構いません。

■プログラム

- 1) 学校における AI 活用の考え方
- 2) 実践事例
 - ・校務での活用
 - ・授業での活用
- 3) 企業等からの技術解説

■主催：日本教育メディア学会企画委員会

■後援：公益財団法人パナソニック教育財団、日本教育工学協会（JAET）

内容は変更されることがあります。

詳細は決まり次第、HP に掲載します。

文責：高橋 純（東京学芸大学）

国際学会 ICoME2025 の開催報告および ICoME2026 のご案内

研究委員会（国際研究会 ICoME 担当）

2025 年 8 月 7 日から 9 日にかけて、International Conference for Media in Education (ICoME) 2025 が、韓国仁川市・Inha University にて開催されました。韓国での ICoME は実に 7 年ぶりとなりました。

ICoME 2025 は、日本教育メディア学会（JAEMS）、韓国教育情報メディア学会（KAEIM）、中国教育技術学会（CAET）、TCCHawaii.org（NPO、米国ハワイ州）が協力して開催する国際会議で、今大会で 23 回目を数えます。今大会のテーマは「Transforming Educational Media: Towards Accountable and Inclusive Future Learning」とされ、日本、韓国、中国、米国の教育メディア研究者による、生成 AI の活用やゲーミフィケーションなどを題材としたキーノートスピーチ、招待講演が提供されました。また、大会のテーマに関連し、多数のコンカレントセッションおよびラウンドテーブルセッションでの発表が行われました。各発表件数は以下の通りです。

ーコンカレントセッション：56 件

ーラウンドテーブルセッション：56 件

大学院生や学部生によるラウンドテーブルセッション 56 件の中から、特に優秀と評価された発表に対し、Young Scholar Awards が授与されました。

今大会は、多くの国々から多数の参加者があり、その中でも日本からは最多の 97 名にご参加いただきました。改めて、ご参加いただきました皆様に深く御礼申し上げます。

来年度の ICoME2026 は、TCC がホストとなり、ハワイ大学にて開催されます。現時点で詳細な日程は決定していませんが、概ね今年度の大会と同時期になると思われます。ぜひともご予約いただきますようお願い申し上げます。なお、大会のウェブサイトや日程に関する情報については、準備が整い次第、学会ウェブサイトおよび会員メールシステムを通じてお知らせいたします。

以上

2025 年度第 1 回日本教育メディア学会研究会のご報告 テーマ「AI の利活用とメディア・リテラシー／一般」

研究委員会（国内担当）

2025 年度第 1 回研究会が、2025 年 7 月 27 日（日）に昭和女子大学（東京都世田谷区）で開催されました。今回の研究会は前回に引き続き、対面およびオンラインでのハイブリッド開催となりました。

研究会のテーマ「AI の利活用とメディア・リテラシー／一般」として募集を行い、16 件の発表がありました。そのうち対面発表は 14 件、オンライン発表は 2 件でした。また、およそ 60 名の参加があり、会場にも 43 名の参加者が集まりました。



研究会では、生成 AI に関する発表が最も多く、生成 AI に対する意識や、活用方法、リテラシーなど、様々な観点での発表が行われました。その他、NHK 教育テレビに関する発表や、教材開発、教師教育など、教育メディア学会らしい様々な発表が行われました。会場からはあたたかいコメントが寄せられました。

座長をはじめ、ご参加いただいたみなさま、運営にご協力くださったみなさまに、心より御礼申し上げます。

なお昨年度より、研究会の発表原稿は J-STAGE で公開されております。ぜひ皆様のご発表原稿をご覧くださいければ幸いです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaemsstudy/-char/ja>

文責：村井明日香（昭和女子大学）

論文投稿のご案内

編集委員会

『教育メディア研究』特集号「今後の情報活用能力の育成の意味を問う」(Vol.32, No.2)の論文は、2025年8月20日で締め切りました。多くの投稿ありがとうございました。現在審査を進めております。

なお一般論文は随時受け付けております。

Vol.32, No.2は、2026年2月末に発刊を予定しております。

Vol.33, No.1は、2026年8月末に発刊を予定しております。

「投稿規程」(<https://jaems.jp/kitei/>)を熟読の上、「テンプレート・投稿方法」のページから登録と投稿を行ってください(<https://jaems.jp/guideline/>)。投稿をお待ちしております。

以上

学会費納入のお願い、入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2025 年度（2025 年 4 月 1 日－2026 年 3 月 31 日）の年会費（正会員 7,000 円，学生会員 4,000 円）が未納の方は，会員システムからお手続きください。学会 HP の「会員マイページ」よりアクセス可能です。事務手続きの漏れを防ぐためにも，会員システムを通じたお支払いにご協力ください。

銀行振り込みをご希望の場合，下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

※ゆうちょ銀行口座からの振り込みの場合は，下記記号番号をご利用ください。

記号：14160

番号：8658501

- ※ 振込手数料は，ご負担ください。ゆうちょ銀行口座から ATM を使って納入いただく場合，手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は，振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にしてください。それが出来ない場合は振込後，事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には，学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は，会費納入に併せて年度ごとに学生証などの証明書類のスキャンまたは写真データを会員システム経由で事務局宛に提出してください。卒業・修了などにより学生会員の条件を満たさなくなった場合は事務局にメールでお知らせください。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では，「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また，学会論文誌「教育メディア研究」をご登録の住所に郵送しております。メールの不達，年度末の学会誌の返送が複数発生しております。確実にお届けするために，定期的に会員マイページにログインの上，登録情報の確認をよろしくお願いいたします。

また，まだ会員システムからマイページへのログイン登録がお済みでない方も，この機会にマイページ登録（<https://jaems.jp/admission/mypage/>）をお願いいたします。

【入会者・退会者・除籍者】※敬称略

入会者・正会員（5 名）・・・渡部芳栄，杉山昂平，松本卓也，阿久津紫乃，梁羅壬

入会者・学生会員（9 名）・・・金丸昌美，豊島和紀，執行治平，岡本小枝，飯田翔大，廣瀬歩夢，佐藤智彦，山内佑輔，殿村英嗣

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。会費の納入状況についてご不明な点がございましたら、事務局（office@jaems.jp）までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

- （1）正会員、学生会員、団体会員ならびに購読会員が、会費を3年間滞納したとき、その年度末をもって除籍され、会員の資格を喪失する。
- （2）除籍された元会員が再入会するとき、滞納会費の納入を要する。

会員総数 416名・12団体

名誉会員：9名*

正会員：339名

学生会員：77名

団体会員：6団体

購読会員：6団体

（2025年9月22日現在）

*会員総数に含まず。9名の氏名は学会HPにて公開。

◆ 学会通信アーカイブ作成ご協力のお願い ◆

本学会は定期的に学会通信を発行し、学会HPにて公開しています。現在、一部未公開となっている学会通信も揃えられるよう、学会事務局では以前の学会通信を探しております。お手元に**第1-16, 18, 27号**が紙もしくはデータ等で残っている場合、学会事務局(office@jaems.jp)までお知らせください。ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

日本教育メディア学会 事務局

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号
広島大学教育学部 A棟4階402号室 池尻良平研究室
日本教育メディア学会事務局 宛

E-mail : office@jaems.jp

学会ホームページ URL : <http://jaems.jp/>

広報委員会

委員長 市川尚（岩手県立大学）

副委員長 泰山裕（中京大学）

委員 高橋暁子（千葉工業大学）

委員 尾崎拓郎（大阪教育大学）

委員 谷塚光典（信州大学）

委員 村川弘城（日本福祉大学）